

道徳学習指導案

【内容項目】 C 主として集団や社会との関わりに関すること

(15) よりよい学校生活、集団生活の充実

【教材名】 道徳素材集 あなたたちへのパス 「世界一のロッカールーム」

1 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

人が、それぞれの集団の一員としてよりよく生きていくためには、自分の属する集団の意義や目指す目的を十分に理解し、自分の役割と責任を果たし集団生活の充実に努めることが大切である。そのためには集団での規則を守り、互いに協力し励まし合う関係作りをすることが重要である。集団の中で自分の役割や責任を自覚することは、集団生活が充実するだけにとどまらず、自己の資質・能力を高め自分自身の向上につながるようになる。

(2) 教材について

日本代表のキャプテンまで務めた廣瀬選手が、メンバーに選ばれなくてもチームに貢献し続けた姿勢から、所属する集団の向上に向けての貢献には、様々なものがあることに気付かせ、自分自身のできることは何かを考えるきっかけとさせたい。

2 本時の指導

(1) ねらい よりよい学級作りのため、その一員として自分が『貢献』できることは何かを考える。集団においては、それぞれ違った『貢献』があることを認め、協力する大切さを知る。

(2) 展開の概要

段階	学習活動	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○発問に答える。(ワークシートに記入) 発問 『貢献』という言葉の意味を知っていますか？ ○辞書に書かれた意味を知る。 「物事や社会に力を尽くして、よい結果をもたらすこと。」(大辞泉) 	<ul style="list-style-type: none"> ○貢献に関わる経験を出し合ってもよい。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ラグビーワールドカップの南アフリカ戦のダイジェスト映像を視聴する。 ○発問に答える。(ワークシートに記入) 発問 ラグビーでは、どのような勝利への貢献がありましたか？ ○意見交換 ○資料「世界一のロッカールーム」を読む。 ○ワールドカップメンバーには、一度もグラウンドに立てなかった廣瀬俊朗選手がいたことを知り、問いかけを聞く。 ○発問に答える。(ワークシートに記入) 発問 この廣瀬選手の行動をどう思いますか？ ○再度、『貢献』について考える。(ワークシートに記入) 発問 ラグビーにおける『貢献』にはどのようなことがあると思いますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ラグビーワールドカップ2015において日本代表が南アフリカ代表に歴史的な大勝利をあげたことを振り返らせる。 ○勝利に貢献した人を見つけようとする視点を持って視聴させる。 ○予想される答え「ゴールキックを決めた。」「トライをした。」「スクラムを押した。」 ○2シーズンにわたって日本代表のキャプテンを務めていた廣瀬選手がワールドカップのメンバーに入れなかったことを説明する。 ○プレーによる『貢献』だけでなく、様々な役割の人がチームを支えたこと、廣瀬選手のように試合には出なくても自分ができることを考えてやった行動があることに気付かせたい。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ○発問に答える。(ワークシートに記入) 発問 (学校行事や学級での活動などを挙げ) □□であなたができる『貢献』にはどんなものがありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○次の行事に向けて学級や学年に『貢献』できることを考えワークシートに書かせて、本時の授業のまとめとさせる。